こんにちは

日本共産党

米田 みのる（よねだ 稔）です

Faxも同じです

県議会活動報告
「赤旗」読者ニュース
2019年3月17日
No. 932

ケータイは 090-1578-8588
▷事務所 841-2777 ▷県議会控室 823-9524 ▷自宅 841-5468 高知市長浜5183-37

▲恒例の高知城おぼりに飾られた、ぼんぼり。新婦人が今年も出品。「中学校卒業まで……」と。

▲雨のなか「3.11を忘れない！こうちアクション」に参加。「福島返せ、古里返せ」「伊方原発廃炉！」等訴え。

お気軽に申請を

「すまいは人権」―県議米田がこの面、3回にわたって県営住宅家賃減免制度の充実を提案。入居者の約30%、1100世帯が減免になっています。一度申請を！

4月8日付しんぶん「赤旗」日刊紙より

家賃減免制度充実を

高知 米田県議が一般質問

日本共産党の米田みのる高知県議は6日の県議会本会議で一般質問し、県と市町村の公営住宅の家賃減免世帯の割合が他県と比べて大幅に低い問題を取り上げ、家賃減免制度の充実を求めました。

家賃減免世帯の割合が最も高い愛知県が43%、次いで鳥取県が39%などとなっているのに対し、高知県が19%と指摘した米田氏に対し、村田重雄土木部長は制度の利用率の高い他県の取り組みについて情報収集すると答弁しました。

米田氏は2017年の民法の一部改正、改正公営住宅管理標準条例を踏まえて、岡山市が昨年末に市営住宅条例を改正し、連帯保証人と敷金の規定を削除、廃止したことを紹介。高知県も同様に、県営住宅条例を改正し、連帯保証人と敷金の規定を廃止するよう求めました。村田土木部長は岡山市が条例を改正した背景などを把握し、検討すると答えました。

米田氏は民法の改正で賃貸住宅の経年劣化の修繕費は貸主の負担と明文化されたことに言及し、県営住宅の障子紙やふすま紙の張り替え、畳の表替えなどは当然、貸主負担に変更すべきだと迫りました。

尾崎正直知事は情報収集し、スピード感をもって対応するとのべました。

よね(米)ちゃんの三こうしん

長州の男…

◎「あの長州の男早くやめさせてくれー」初めて訪問した方でしたが、思いを率直にぶつけます。

"アベ政治を許さない"の声、怒りが広がっています。

その思いに応える斗いが目前に!!

◎3月8日、山原健二郎元代議士の命日に開く"南炎忌"に出席。

失聴者方々と山原さんの思い出と、新たな斗いへの決意を交流させて頂きました。

◎少し飲むのを控え(3.)翌朝人間ドックに。

あるナースの方が、「間いにお名前、議員さんですね、終わりがけに『がんばって下さい』と。

◎庭のプランターで育てた、じゃがいもが袋にいっぱい。うれしそうに、妻。